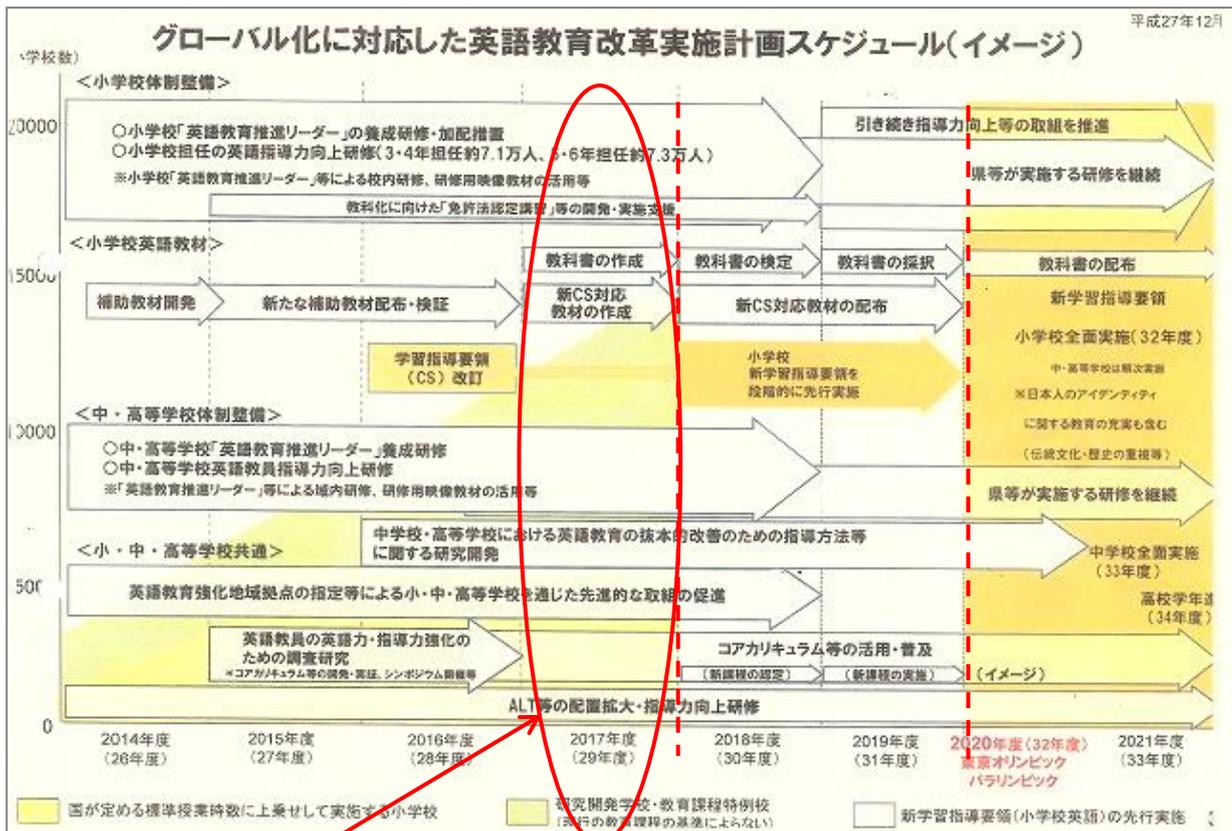




-5・6年生外国語(英語)/3・4年生外国語活動全面実施までのスケジュール-

2020年度(平成32年度)の小学校外国語(英語)・外国語活動(2018年度より移行措置)全面実施に向けて、どんなスケジュールで進んでいくのでしょうか。概要を確認しましょう。小学校外国語(英語)・外国語活動に関する様々な変化は、小中高を通した日本の英語教育全体の変化の一部分であるという捉え方が必要です。小学校単独の変化ではないということです。

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール(イメージ)



平成29年度はココ!

5・6年で外国語活動

先行実施(移行措置)期間

5・6年で外国語
3・4年で外国語活動

29年度の2・3年生が

5・6年生の時に教科化
全面実施

2020年度(平成32年度)の全面実施に向けて、現在様々な体制整備が進められています。

この「小学校外国語活動巡回指導教員研修事業(北海道)」は、小学校「英語教育推進リーダー」による各校中核教員への伝達研修(※1)と併せて、現職研修の二本柱と位置付けることができます。29年度は事業の2年目、室蘭市としても2年目の実施となります。

※1: 小学校「英語教育推進リーダー」による各校中核教員への伝達研修

…胆振管内では平成28年度から実施しています。小学校1校あたり1名の参加を基本とし(1回につき20~25名程度)、平成31年度までの4年間で、推進リーダーによる中央研修の成果を還元することをねらいとしています。

昨年度室蘭市からは、大沢・高砂・水元の3校から参加がありました。

次号では、外国語(英語)・外国語活動に関する先行実施(移行措置)期間の学年の移り変わりや、校内での検討に必要な資料を提示しながら、新学習指導要領実施に向けた平成29年度の準備計画を考えてみたいと思います。